



SEISEI



浜松聖星高等学校通信 2025年度 No.10 R8.1.9 発行

新年のご挨拶

浜松海の星学院理事長 北脇 保之

明けましておめでとうございます。

2025年は世界と日本の基本的な枠組みがそれぞれ大きく変わった1年でした。米国のトランプ大統領はアメリカ・ファーストを唱え、同盟国や友好国よりもむしろ中国、ロシアなど権威主義国家に共感を示すとともに、法外な関税により、第2次大戦後米国が主導して築いてきた自由で協調的な国際体制を自ら壊しています。日本でも自民党が後退し、多党化が進んでいます。

私は歴史が何かの意味を持っているとか、何かの法則に従って動いているとかいうような「歴史主義」には賛成しません。しかし、西洋近代が育んできた人権思想は、特定の時期の、特定の地域にとってだけ重要なものではなく、未来に渡って守っていくべき人類の普遍的な財産だと考え、これの世界を見る基軸にしています。

これからの時代を生きていくためには、激動する世界を理解するための自分なりの見方が必要です。その自分なりの見方を得るには学ぶしかありません。学んだことの多くは次第に忘れてしまうかもしれませんが、少しでも頭に残るものがあれば必ず役に立ちます。生徒のみなさんには、新年にあたり日頃自分のしていることを大きな目で捉え直してほしいと思います。

浜松海の星学院学院長 Sr. ニルダ

It is with joy to wish you all a Blessed New Year 2026.

It is helpful to set a goal at the beginning of the new year. It is our desire to invite you to place God, the Creator, at the center of your life. This is our Christian orientation: to believe in the existence of God and to allow ourselves to be influenced by this Truth!

Our school's objective is to achieve excellence in academic studies and to pursue excellence in research and investigation in science and technology at the service of humanity. Yes, we aim for excellence in our studies yet, as a Catholic school it is very important that we "educate our heart", that is to cultivate our capacity to love others and to grow in our fraternal relationship as brothers and sisters in the Lord Jesus Christ.

May the Blessed Virgin Mary, the Star of the Sea, bring us closer to Jesus Christ! And may God bless us all with the gift of PEACE!

【日本語訳】

皆様に、喜びとともに、祝福に満ちた2026年の新年のお慶びを申し上げます。

新年の始まりにあたって目標を立てることは、非常に意義深いことです。私たちは、皆様が「創造主である神」を生活の中心に置くよう歩まれることを願っています。神の存在を信じ、その「真理」に自らを委ねて歩むこと。これこそが、私たちのキリスト教的指針なのです。

本校の目的は、学業において優れた成果を収めることであり、人類に奉仕するために、科学技術の分野で卓越した研究・調査を追求することにあります。確かに私たちは学問における卓越性を目指しますが、同時にカトリック校として「心の教育」を何よりも大切にしています。それは、他者を愛する力を育み、主イエス・キリストのもとで兄弟姉妹として互いの絆を深めていくことに他なりません。

「海の星」である聖母マリアが、私たちをより近くイエス・キリストへと導いてくださいますように。そして、神が私たち全員に「平和」という恵みを授けてくださいますように。

あけましておめでとうございます。

この輝かしい新年の始まりに際し、まずは昨年一年間、共に学び、成長することができたことに、深く感謝の念を捧げたいと思います。特に、本校が大切にする隣人愛の精神に基づき、皆さんが互いを思いやり、助け合いながら学校生活を送ってくれたことを、大変嬉しく思っています。

私たちの人生には、喜びもあれば悲しみもあります。ただ、どんな時であっても、私たちが神様から愛されているかけがえのない存在である、という事実が変わりはありません。新しい年を迎えた今こそ、皆さんは、与えられた才能をさらに伸ばし、自らの可能性を信じ、積極的に挑戦していくべきです。

皆さんには、ぜひ、キリスト教の教えに基づいた「真理」と「愛」を追究してほしいと思います。単に知識を増やすのではなく、この世界や他者への理解を深め、自分は何のために生きるのか、社会に対してどのような貢献ができるのかを深く考えてください。

時には壁にぶつかることもあるでしょう。しかし、困難の中でこそ、自分自身の弱さを受け入れ、他者の支えに感謝し、祈りを通して神様に希望を見出すことができるものです。この一年、皆さんが心身ともに健やかに成長し、神様の導きの中で、愛に満ちた行動をもって周囲を照らす存在となることを期待しています。

希望に溢れる新しい一年を、共に歩み始めましょう。

【DXハイスクール】 2 学年 情報II

「無人航空機安全講習＋マイクロドローン贈呈式」-11月21日(金)-

令和7年11月21日(金)に、2年生「情報II」授業選択生徒がDXハイスクールの取り組みとしてドローンについて学びました。

講師にDNブランチ合同会社 SORA TECH studio 様をお迎えし、ドローンについての法律や資格、様々な分野での無人航空機の活用をご紹介いただき、社会問題の新しい解決方法を考える機会となりました。生徒達は9月に静岡大学様の出前授業ですでにプロポ操作を学んでいるため、全員がプロポ操作を習得しており、今回の機体性能などをすぐに理解し、安全に楽しく取り組むことができました。

【生徒感想】

- ・回転する動きや大きなドローンが飛んでいる様子を身近で見るという新鮮な体験ができた。体験以外でも多くのことが勉強になり、非常に有意義な時間だった。
- ・空飛ぶ車としての存在や人の移動への活用、エンターテインメントとしての利用など、ドローンの今後の可能性に気づくことができ大変勉強になった。
- ・ドローンショーなど空中に絵を描くパフォーマンスの事例を見て、機体や操作技術の高さに感心した。いつか、高度なドローンプログラミングにも挑戦してみたい。

などの感想があり、体験的な授業により深い学びに向かうことができました。

また、講義のあと、情報IIの生徒分＋情報Iを学ぶ1学年全員分として240機のマイクロドローンを贈呈していただきました。本校のSTEAM教育として、12月後半には、1年生「情報I」の単元「情報社会と超スマート社会」内で活用し、未来の社会を自分事とした体験的な学びに活かすことができました。



「静岡県 高校生消費者教育」 出前講座 -11月25日(火)-

2年生がLHRの時間を利用し、本校体育館にて高校生の消費者教育を学びました。

静岡県西部県民生活センターから派遣いただいた花澤麻紀（はなざわ まき）講師から、契約や金融・若者に多い消費トラブルとその対処法など最新のトラブル事例と対策をご講義いただきました。講義中に行われたワークでは、今までの消費者としてのトラブルを振り返りながら熱心に取り組むことができました。また、成人年齢の引下げに伴い高校生の消費者被害が増加していることを学び、消費生活に関する基礎知識を網羅的・体系的に理解することができました。

【生徒感想】

- ・まだ高校生だからあまり関係ないのではなく、これから社会に出た際自分のことは自分で責任を取っていかなければいけないことを改めて学んだ。
- ・きちんと知る機会がなかった消費生活センターやクレジットカードのことについて学ぶことができ、今後に役立てようと思った。
- ・消費者ホットラインが188(いやや)で覚えやすく、いざというときに思い出しやすいなと思った。
- ・未成年である自分たちにとって不十分であった消費者生活の知識について深く学ぶことができた。
- ・友達や先輩からの誘いであっても内容があやしい契約には絶対に応じないことを強く意識した。
- ・もうすぐ新成人になるという意識がまだなく、消費者トラブルについてなにも知らなかったとあらためて気がついた。 などがあり、自分事として考える機会となりました。



伊与原新先生 全校対象講演会 -12月8日(月)-

講演者 小説家・推理作家 伊与原新（いよはらしん）氏
講演タイトル 「小説×科学 私の創作活動」



伊与原先生プロフィール

1972（昭和47）年、大阪生れ。神戸大学理学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科で地球惑星科学を専攻。博士課程修了後、パリの研究室、大学勤務を経て、2010（平成22）年、『お台場アイランドベイビー』で横溝正史ミステリ大賞を受賞。2019年『月まで三キロ』で新田次郎文学賞受賞。他の著書に『プチ・プロフェスール』『ルカの方舟』『博物館のファントム』『梟のシエスタ』『蝶が舞ったら、謎のち晴れ 気象予報士・蝶子の推理』『ブルーネス』『コンタミ 科学汚染』『青ノ果テ 花巻農芸高校地学部の夏』『八月の銀の雪』『オオルリ流星群』『宙（そら）わたる教室』などがある。
第172回直木賞（2024年下期）受賞『藍を継ぐ海』
現在東京都在住。

生徒アンケートの結果から、伊与原先生の講演会は、生徒の学習意欲の向上とキャリア意識の深化に大きな影響を与えたことが分かりました。

【生徒感想】

- ・伊与原先生の本のできあがる経緯や本に対しての作り方、工夫などを実際に聞けてよかった。文章や物語を作り上げる力だけでなく科学的な知識や考え方を取り入れたからこそその面白さだと理解した。
- ・私は文系と理系が融合した学部で幅広く学びたいと思っているので、学びながら〇〇の〇〇の部分を追求しながら大学でも学びたいと思いました。
- ・全てのことを覚えておく必要はないけれど、断片的に覚えていたものはふとした時に役立つかもしれないので、学校の勉強って大事だと思いました。
- ・今日の講演を聞いて僕は学びに関する探究心の大切さを実感しました。学びへの探究心についてのことを忘れずにこれからの生活に生かせるように頑張りたいと思います。受験期の僕にとって有意義な講演でした。このような講演は中々ないので感謝したいと思います。
- ・今回の伊与原先生の講演を聞いて、学びの本質について少し理解することができました。勉強のモチベーションが上がりました。
- ・私は、将来伊与原先生がされていたように研究を仕事にしたいと考えています。そんな私にとって、今回の伊与原先生のお話はとてもためになりました。お話の中にあった様々な分野にわたる沢山の知識を見て、知識の大切さを身に染みて感じました。また、伊与原先生がいきいきと話されているのを見て、大学での学びがより楽しみになりました。
- ・僕は伊与原さんの話をきいて様々な知識をつけていくことの大切さを感じました。伊与原先生の話はとても面白く、様々な知識をつけていることが伝わってきて興味深く聞くことができました。
- ・今日の講演を聞いて、学びに対する考え方が大きく変わった。学ぶことについて、それをひたすら深めていくことだけが学ぶことだと思っていたが、学びながら何かをすることでより知見が深まっていくこともあるんだと知った。
- ・先生は「人の思いや背景を丁寧に拾い上げる姿勢」や、「科学や事実を説明しながら、そこにある“人間の物語”を描く姿勢」を大切にしているのだと分かりました。
- ・科学の面白さと奥深さを実感できる、貴重な時間でした。あまり本は読まないし、集中力も切れちゃうけど、少し読んでみようかなという気持ちになれました。



理数コース企業研究所訪問 -12月16日(火)-

科学探究の授業で浜松ホトニクス中央研究所産業開発センターを訪問しました。

科学探究における施設見学は、理数コースの生徒が自分の興味関心を見極め、模索するための取り組みです。

最新の研究施設を見学することによって、ものづくりに対する理解を深め、理系の職業選択の参考とすることを目的としています。

今回は光産業で有名な浜松が誇る企業である浜松ホトニクスの研究施設を訪問させていただき、レーザー核融合を発電に利用する研究や大出力レーザを用いた新しい産業の創出についてなど、光には無限の可能性を知りました。

訪問先：浜松ホトニクス 中央研究所産業開発研究センター

実施内容：「光に関する講義」「研究センター見学」

生徒からは以下のような感想が寄せられました。

- ・将来エネルギー革命を起こすような素晴らしい会社を見学できて良かった。
- ・いつもより近くで研究の様子をみることで面白かった。いろいろな活用法もあって面白かった。内容をしっかり理解できるように勉強を頑張りたい。
- ・核融合が安価でできるようになれば、電気代が安くなるだろうと感じた。メガソーラーよりも遥かに環境に良い発電方法だと思った。
- ・企業見学をして、光関連の電子部品や電子機器を製造しているホトニクスについて知識を増やすことができました。今回は「核融合」について説明を聞いたり、実物を見ることでさらにホトニクスの偉大さを感じました。
- ・どんな研究をしていて何を調べているのか。また、その研究がどこで使えるのかがよくわかった。核融合は難しかったが、興味深かった。



🌸 ステラサンクタクリスマス -12月23日(火) 一般公開 24日(水) 生徒公開 -



アクトシティ浜松中ホールにて、ステラサンクタクリスマスが行われました。“ステラサンクタ”とは、ラテン語で「聖なる星」を意味します。演劇部・ダンス部・放送部による「聖誕劇」と吹奏楽部によるコンサートの2部構成での上演となり、“愛と平和の祝日”といわれるクリスマスの本来の意味を学びながらイエス・キリストの誕生を皆でお祝いし、喜びや感謝を分かち合いました。

また、クリスマス募金を行い78,196円集まりました。この募金は日本赤十字社に寄付させていただきました。ご協力いただきありがとうございました。

🌸 マラソン大会のお知らせ

日時：1月29日(木) 女子9:30スタート／男子10:20スタート(予定) ※予備日：なし

場所：小笠山総合運動公園・エコパスタジアム アクセス→<https://www.ecopa.jp/access/>

コース距離：女子約5Km／男子約8Km

＊原則として、事前に不参加の申し出(要 書面提出)があった生徒以外の1・2年生は全員参加となります。

＊3年生は不参加となります。

＊当日は、8時30分までにスタジアム外の各クラス指定の場所に集合してください(現地集合・現地解散)。

＊欠席の場合は、8時30分までにBLENDへの入力をお願いします。



1月の行事予定



1	木	【元旦】	16	金	面談週間 45分授業 [情報Ⅱ7・8限]
2	金	休校日	17	土	《大学入学共通テスト》 1・2年：進研模試総合学力テスト(全員)
3	土	休校日	18	日	《大学入学共通テスト》
4	日	休校日	19	月	面談週間 45分授業 3年：家庭学習日開始 [7限]
5	月	職員会議	20	火	面談週間 45分授業
6	火	始業式	21	水	面談週間 45分授業
7	水	委員会	22	木	面談週間 45分授業
8	木	[7限、課]	23	金	面談週間 45分授業 [7限]
9	金	[情報Ⅱ7・8限]	25	日	第3回英検1次
10	土	SP④	26	月	[7限、課]
12	月	【成人の日】	27	火	1・2年レディネステスト②(LHR)
13	火	1・2年：レディネステスト①(LHR)	28	水	委員会(2月分)
14	水	学年集会	29	木	マラソン大会
15	木	月曜日授業(1限～7限) 45分授業 面談週間 [7限]	30	金	3年登校日 入試準備打ち合わせ(放課後) [情Ⅱ7・8限]
			31	土	SP⑤ 2学年生徒・保護者対象 総合型・学校推薦型選 抜ガイダンス(PM)

2月の行事予定



2	月	午後入試準備	16	月	[7限、課]
3	火	家庭学習日〈入試〉	17	火	1・2年レディネステスト③(LHR)
4	水	家庭学習日〈入試〉	18	水	全校集会
5	木	家庭学習日〈入試〉	19	木	[7限、課]
6	金	第3回漢検 全統共通テスト高2模試(理数・特進のみ) ※1日で情報以外の全科目実施	20	金	[情Ⅱ7・8限]
9	月	[7限、課]	23	月	【天皇誕生日】
10	火	2年：進路ガイダンス(LHR)	24	火	浜松市長の講話(1・2年LHR)
11	水	【建国記念の日】	25	水	委員会(3月分)
12	木	[7限、課]	26	木	[7限、課]
13	金	45分授業 職員会議 [情Ⅱ7・8限]	27	金	3年登校日 卒業式準備 表彰式(午後) [情Ⅱ7・8限]
14	土	SP⑥	28	土	SP⑦

2月17日(火)に予定していた「2年生保護者対象総合型・学校推薦型ガイダンス」は、1月31日(土)に変更になりました。詳細は1月7日(水)にBLENDにてお知らせした「大学入試における面接・小論文対策についての講演案内」をご覧ください。



浜松聖星高等学校

TEL : (053)454-5376 FAX : (053)453-4719 <https://hamamatsu-seisei.jp/>

公式YouTube



公式Instagram



も随時更新しております。ぜひご覧ください！